

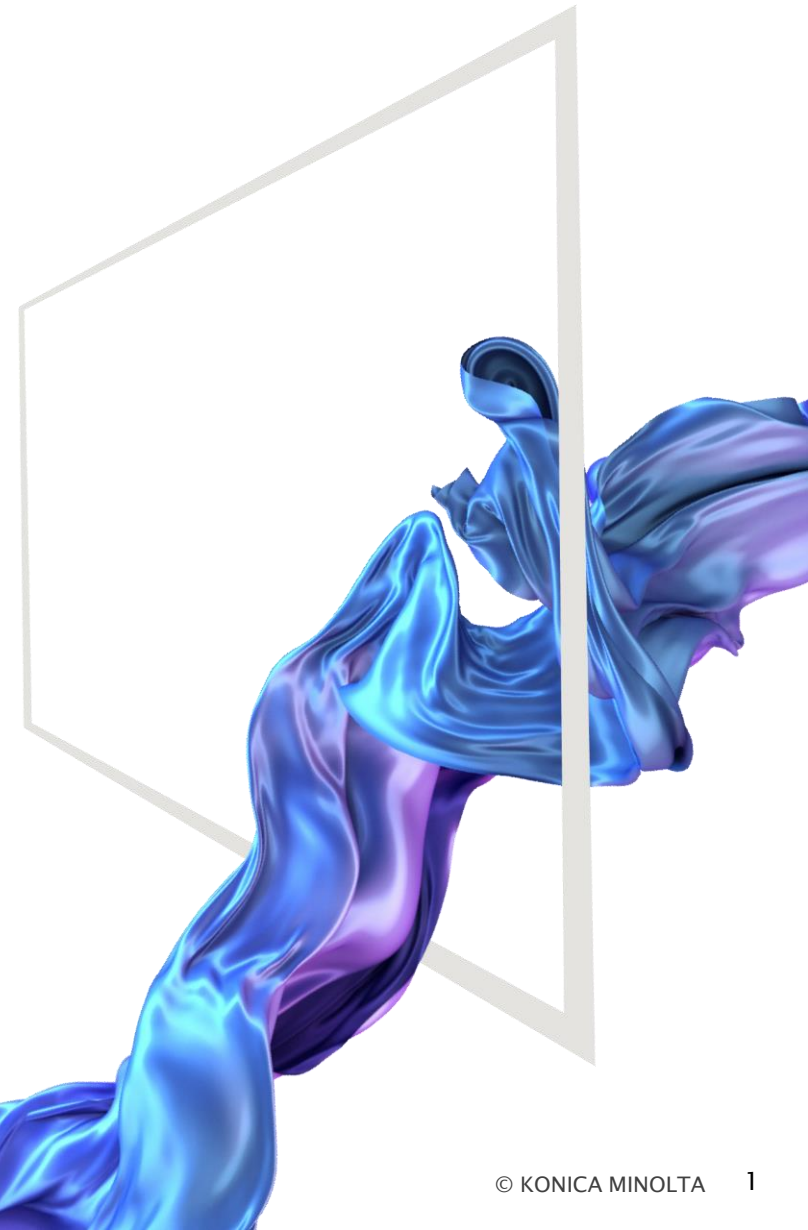


KONICA MINOLTA

コニカミノルタ株式会社 2023年3月期（2022年度） 第2四半期決算説明会

代表執行役社長 兼 CEO 大幸 利充

2022年11月2日





KONICA MINOLTA

2022年度2Q 業績



2022年度2Q 業績 | 全社サマリー



KONICA MINOLTA

業績は着実に回復し2Qで黒字転換。全体として想定を上回る進捗

売上高

- ・ 為替影響除きでも、上期累計、2Qともに増収
- ・ 生産量を回復、受注残が減少に転じ、四半期としてはFY18 4Q（2,815億円）以来の2,800億円台

営業利益・キャッシュフロー

- ・ 事業貢献利益：売上総利益の増加と販売管理費の抑制により、上期累計で黒字化
- ・ 営業利益：2Q黒字化
- ・ FCF：3Q販売用の輸送中在庫増、部材在庫積み増しなどによりマイナス

	2022年度		2021年度		2022年度		2021年度	
	累計	累計	前期比	為替影響を 除く前期比	2Q	2Q	前期比	為替影響を 除く前期比
売上高	5,307	4,451	+19%	+7%	2,829	2,152	+31%	+16%
売上総利益	2,260	1,954	+16%	+5%	1,213	941	+29%	+16%
（売上総利益率）	42.6%	43.9%	△ 1.3pt		42.9%	43.7%	△ 0.9pt	
販売管理費	2,253	1,984	+14%	+4%	1,146	991	+16%	+5%
事業貢献利益（*）	7	△ 29	-	-	67	△ 50	-	-
営業利益	△ 51	△ 16	-	-	59	△ 47	-	-
親会社の所有者に帰属する								
当期利益	△ 67	△ 43	-	-	20	△ 53	-	-
FCF	△ 254	119	-	-	△ 5	147	-	-
為替レート（円）								
USドル	133.97	109.80	+24.17		138.37	110.11	+28.26	
ユーロ	138.73	130.90	+7.83		139.34	129.84	+9.50	

（*）事業貢献利益はIFRSの営業利益から、その他の収益・費用を戻したものの

2022年度2Q 業績 | 事業セグメント別売上高と営業利益



KONICA MINOLTA

- **デジタルワークプレイス：**
生産量の回復、物流輸送期間の改善。1Qまで積み上がっていた受注残を減少に転じさせ増収増益
- **プロフェッショナルプリント：**増収継続、ノンハード回復継続し増益
- **ヘルスケア：**為替影響により増収減益
- **インダストリー：**
センシング・リコンポーネントは好調も、機能材料は市場在庫調整の影響を受け減収減益

【億円】

売上高	2022年度				2021年度			
	累計	上期	前期比	為替影響を 除く前期比	2Q	2Q	前期比	為替影響を 除く前期比
デジタルワークプレイス事業	2,785	2,261	+ 23%	+ 10%	1,496	1,049	+ 43%	+ 18%
プロフェッショナルプリント事業	1,199	935	+ 28%	+ 15%	648	456	+ 42%	+ 18%
ヘルスケア事業	640	562	+ 14%	+ 2%	353	310	+ 14%	+ 1%
インダストリー事業	675	686	△ 2%	△ 10%	325	333	△ 2%	△ 12%
コーポレート他	10	7	+ 44%	+ 44%	7	4	+ 90%	+ 90%
全社合計	5,307	4,451	+ 19%	+ 7%	2,829	2,152	+ 31%	+ 16%

営業利益	2022年度		2021年度		2022年度		2021年度	
	累計	営業利益率	上期	前期比	2Q	営業利益率	2Q	前期比
デジタルワークプレイス事業	△ 34	-	△ 44	-	42	3%	△ 54	-
プロフェッショナルプリント事業	50	4%	15	+ 242%	41	6%	5	+ 703%
ヘルスケア事業	△ 90	-	△ 53	-	△ 25	-	△ 21	-
インダストリー事業	107	16%	145	△ 26%	45	14%	65	△ 31%
コーポレート他	△ 84	-	△ 79	-	△ 44	-	△ 42	-
全社合計	△ 51	-	△ 16	-	59	2%	△ 47	-

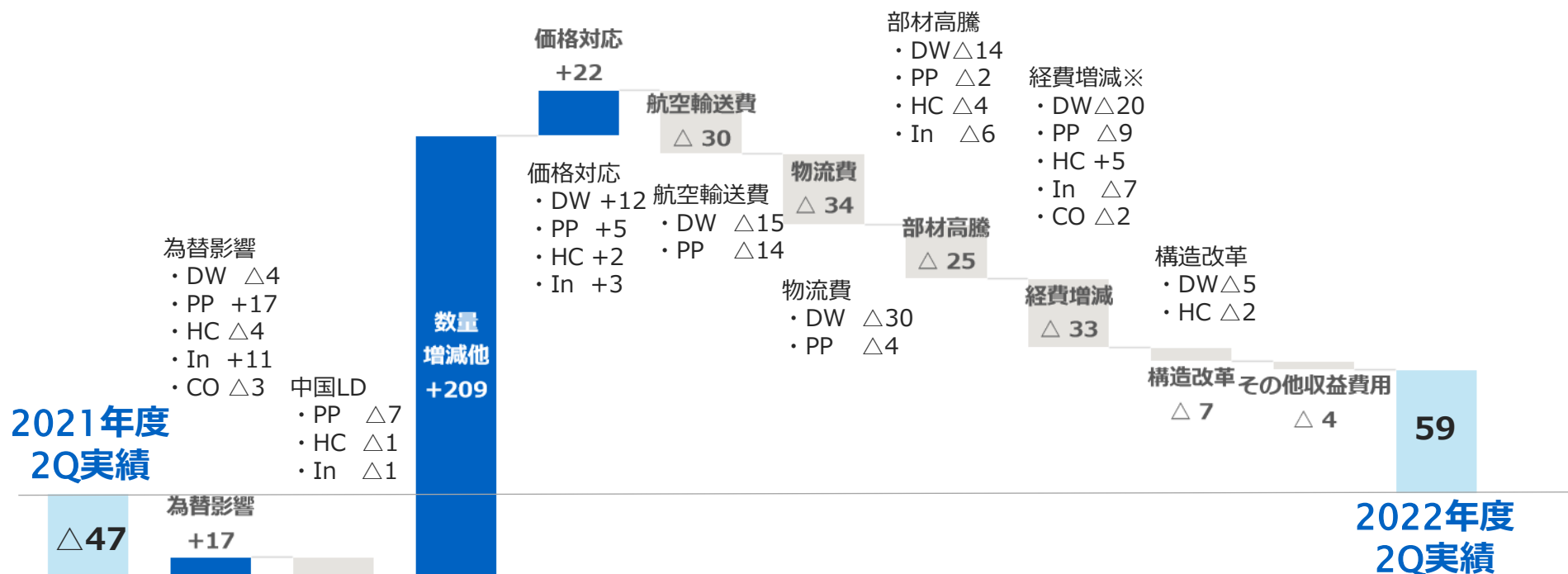
2022年度2Q 業績 | 営業利益の増減要因



KONICA MINOLTA

- 販売数量増減 (+209)
- 航空輸送費 (△30) : トナー工場事故からのリカバリーで今期は必要
- 中国ロックダウン影響 (△10)

【億円】



DW:デジタルワークプレイス
 PP:プロフェッショナルプリント
 HC:ヘルスケア
 In:インダストリー
 CO:コーポレート他

数量増減他
 ・DW +172
 ・PP +52
 ・HC +2
 ・In △19
 ・CO +2

経費増減※ : 航空輸送費除く経費の増減

達成できたこと

- **オフィス：**
 - ・ 部材確保、生産数量の拡大に努めハード供給量を回復。受注残が減少に転じさせ、販売大幅増（受注残：1Q末約670億円⇒2Q末約575億円）。下期販売量を確保（在庫増）
 - ・ ノンハードはほぼ想定通り（対FY19 85%）
 - ・ 構造改革が進捗（費用対効果を最大化、前回見通しからネットで+5億円）
- **プロダクションプリント・産業印刷：**
 - ・ ノンハードの売上伸長（プロダクションプリント：対FY19 98%）
- **ヘルスケア（メディカルイメージング）：**
 - ・ 動態回診車の国内導入加速、米国での販売開始
- **センシング：**1Qに続き需要好調により増収。キムスオプテック社買収完了
- **プレジジョンメディシン：**構造改革を予定通り完了

達成できなかったこと（課題）

- **プレジジョンメディシン：**
 - ・ 遺伝子検査受領サンプル数の伸長遅延。製薬会社による治験開始の遅れ
- **機能材料：**市場在庫調整の影響継続（影響が想定以上）

- ✔ 実施中
 - ✔ 実施完了
 - ✔ 効果が顕在化
- 施策の効果



粗利額



売上高



売上原価

販売管理費



オフィス

ハード受注残の売上転換

- ✔ 中国ロックダウンの計画への織り込み、生産体制の強化、1Qロックダウンの影響は上期に挽回
- ✔ 半導体等部材の確保

受注残の売上転換額 約95億円

売上原価の輸送費低減

- ✔ 生産・供給量の正常化による航空輸送の削減（トナーは市中在庫正常化まで航空輸送継続）

DW-DX

供給量の向上

- ✔ サーバーなど調達の実線化によるITサービス商材の確保
- ✔ 欧州人財増強によるサービスデリバリー力の強化

QoQ売上高+17%

サービス原価低減

- ✔ ソリューションのパッケージ化による小規模顧客案件のデリバリープロセスの効率化

構造改革の効果創出、DX推進による効率化推進

- ✔ 構造改革実施と効果出し 費用1Q: 35億円（先行実施） 2Q: 5億円
- 効果FY22:上期 約4億円、下期 約25億円

- ✔ 人財アロケーションの最適化
- ✔ 顧客ターゲティングへのAI活用推進などDXによる営業効率化

2022年度2Q 業績 | ハード・ノンハード売上 対FY19

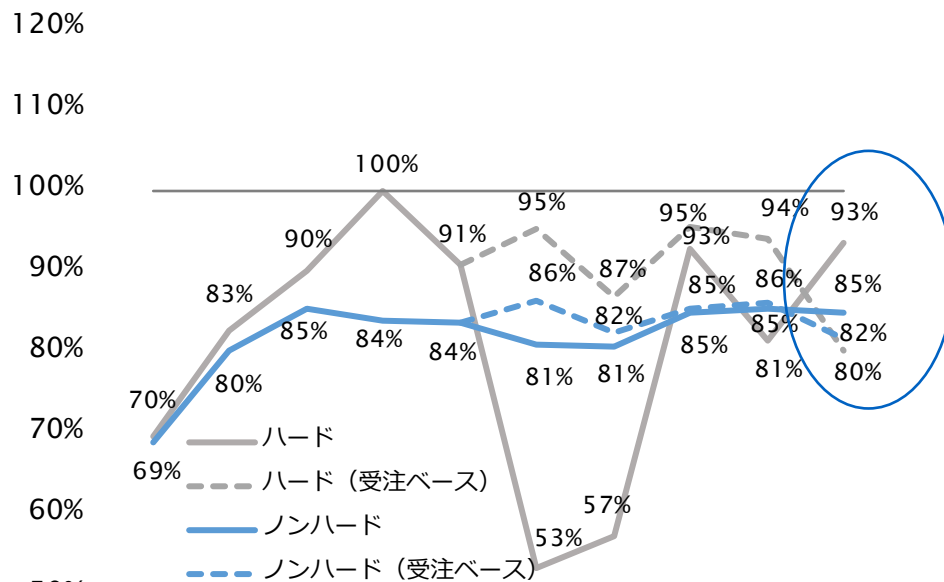


KONICA MINOLTA

2Qで供給が受注を上回り、受注残の解消進展

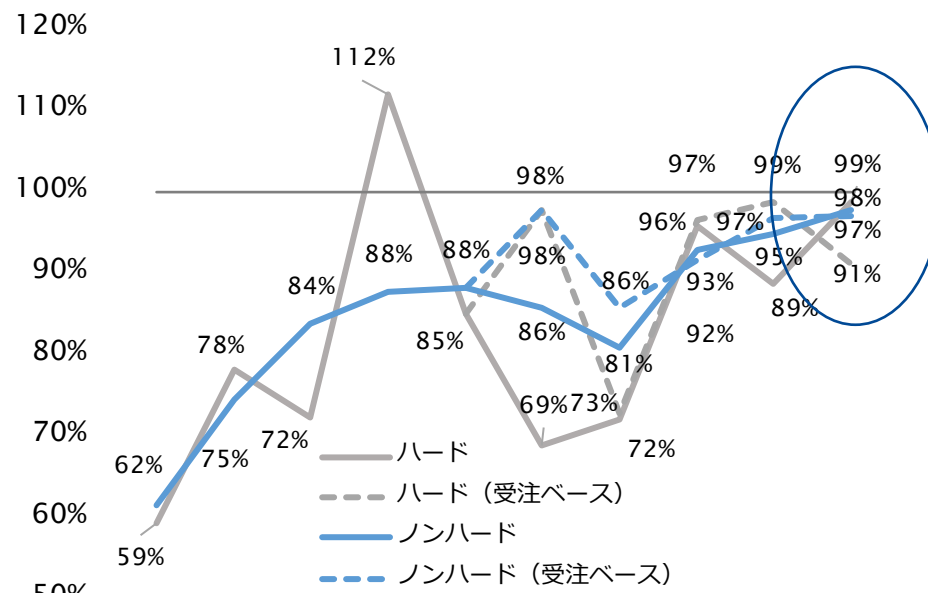
(2019年度を100%とした場合)

オフィス



ノンハード地域別	FY20				FY21				FY22	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
日本	85%	90%	94%	92%	92%	87%	91%	89%	89%	87%
米国	62%	73%	78%	81%	77%	75%	74%	82%	77%	80%
欧州	66%	82%	83%	78%	83%	82%	77%	82%	87%	82%
中国	107%	105%	115%	140%	109%	111%	75%	110%	114%	107%
インド	52%	68%	98%	113%	73%	103%	127%	108%	143%	128%
合計	69%	80%	85%	84%	84%	81%	81%	85%	85%	85%

プロダクションプリント



ノンハード地域別	FY20				FY21				FY22	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
日本	76%	82%	88%	87%	81%	76%	66%	78%	75%	72%
米国	52%	67%	77%	82%	76%	75%	76%	90%	81%	83%
欧州	64%	77%	79%	78%	88%	94%	77%	86%	98%	105%
中国	113%	117%	140%	138%	176%	138%	98%	127%	120%	143%
インド	34%	71%	105%	113%	83%	107%	121%	114%	136%	127%
合計	62%	75%	84%	88%	88%	86%	81%	93%	95%	98%

課題に対する対応状況 | プレシジョンメディシン



KONICA MINOLTA

上場については市場環境等を見極めたうえで、適切な時期に実行する計画
 FY22 4Q : AmbryとInvicroの個社単体黒字化を目指す

- ✔ 実施中
 - ✔ 実施完了
 - ✔ 効果が顕在化
- 施策の効果

遺伝子検査

創薬支援

保険償還可能サンプル数の増加

受託試験分野の安定成長

- ✔ 受領サンプル数の増加 (含むパートナー戦略)

- ✔ オンコロジー領域のプロジェクト受注拡大

売上高

保険償還率の向上

- ✔ 保険償還作業効率の向上/体制強化
- ✔ 営業インセンティブの見直し



検査の原価低減

- ✔ 従来検査の原価低減
- ✔ RNA検査の原価低減

売上原価

売上レベルに応じた販管費の再設計及び最適化

- ✔ 遺伝子検査の営業面での提携・協業
- ✔ 人員最適化 構造改革効果 年間約30億円見込み (うち下期20億円)

販売管理費



研究実績/成果

• 厚生労働省より、GenMineTOP がんゲノムプロファイリングシステムの製造販売承認を7月に取得

• Science Translational Medicine誌にて初期アルツハイマー患者の細胞ストレス反応と生体エネルギー異常性に関する論文が採択

収益性改善加速のための最適化施策（1Qから継続）



KONICA MINOLTA

デジタルワークプレイス

売上回復後の規模感を想定し、販売・サービスのプロセス・組織効率化、ITサービス採算性向上策の実行

AI・インサイドセールス導入拡大

マネジメント構造簡素化

ITSパッケージ化による販売効率化

費用	1Q	2Q	3Q	当期計
前回	35	25	-	約60

今回	35	5	5	約45
----	----	---	---	-----

費用対効果の最大化
ネットで+5億円

【億円】
効果
当期計
約40
(上期5, 下期35)
約30
(上期5, 下期25)

プレジジョンメディシン

収益性を最優先とする事業運営方針に転換
2年前より拡充してきた営業人員を中心に大幅削減し適正化を実行

販売エリア選別、低粗利案件縮小

機能統合・開発テーマ選別

パートナー戦略による販売効率化

費用	1Q	2Q	3Q	当期計
前回	1	2	-	約3

今回	1	2	-	約3
----	---	---	---	----

効果
当期計
約20
(上期5, 下期15)
約30
(上期10, 下期20)

継続課題/2Qの状況

3Q以降の打ち手

プロダクション プリント

- デジタル印刷機の需要堅調
- 中国における生産の回復、物流輸送期間の短縮により、主にハードの受注残解消の開始

- 受注残解消を継続
- トナー市中在庫を充足し、航空輸送から海上輸送へシフト
- 新規の中大手印刷会社を開拓



メディカル イメージング*

- 日米でX線関連（DR/システム）、国内の医療IT堅調
- 動態回診車を国内で導入加速、米国で販売開始

- X線、医療ITは診療支援を中心に高付加価値化を推進
- 動態システム（回診車含）のグローバル展開



青字：前回認識からの変更点

*メディカルイメージング：ヘルスケア事業（ヘルスケア分野）



継続課題/2Qの状況

3Q以降の打ち手

センシング

- 光源色、物体色：需要を捉え好調
光源色は韓国販売技術コンサルタント兼メーカー(キムスオプテック社)の買収完了
- 戦略的新規事業（外観計測、HSI産業用途）：新規受注を順調に獲得

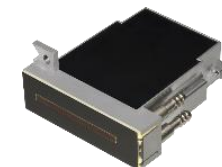
- 光源色：中韓ディスプレイ向けパイプライン案件の売上実現
- 外観計測：国内自動車OEMでのシステム稼働開始
- HSI：産業用途へ注力
リサイクル分野での販売拡大



リコンポ ネント

- 上海ロックダウンの影響から、中国国内の需要が回復
- 欧州市場で高精細サイングラフィックス向け販売が好調

- 欧州での新規用途拡大
- プリント基板などの工業用途向け領域拡大



機能材料

- TV市場におけるVA位相差フィルムのポジションは堅調に維持
- IT/スマートフォン市況のリモートワーク特需反動による市場在庫調整影響が長期化
- 原材料調達における円安影響含むコスト増

- 当社強みのTV領域のシェア継続拡大
- 中期戦略につなげるTV領域新樹脂フィルムの新規開発加速化
- 変動/固定費を抑制しつつ、需要回復に向け準備
- 原材料調達先の複線化推進



青字：前回認識からの変更点



KONICA MINOLTA

2022年度業績見通し



2022年度 業績見通し | 2022年度 3Q以降の環境認識 (前回想定と今回)



KONICA MINOLTA

事業を取り巻く環境認識

	前回 (1Q) 想定	今回
為替/金利	想定レート：7月以降 USD135円、EUR135円 全世界的な金利上昇	想定レート：10月以降 USD145円、EUR140円 円安加速、金利上昇
景況	北米、日本および欧州の主要国でCOVID-19 前のGDPを上回るが、ウクライナ情勢を踏ま えて世界経済見通しは下方修正	<ul style="list-style-type: none"> 世界経済見通し下方修正、 一部事業で影響が出始める 可能性 インフレ、エネルギー価格 高騰、金利上昇等による設備 投資抑制へ
原材料・エネルギー価格の高騰	ウクライナ情勢による原油価格・エネルギー 価格の上昇、および中国からの輸出量減少等 による原材料の値上げ、投機筋による銀相場 は高騰	
COVID-19	上海ロックダウンは6月初旬解除、他の地域 で局地的にロックダウン実施	変更なし
半導体不足	需要拡大ペースが供給能力増強を上回り、自 動車向け半導体中心に2022年にかけて引き 続き不足する見込み	供給に改善傾向
輸送期間長期化/ 物流費高騰	ひっ迫要因である港湾混雑、検疫措置、労働 力不足の改善の兆しは見られず、ひっ迫状態 は今後も継続	輸送期間改善、 物流費は若干改善傾向

2022年度 業績見通し | サマリー



KONICA MINOLTA

- ドル・ユーロ前提を実勢レートに合わせたことや受注残の解消見込みにより、売上高を上方修正（うち、為替影響 約240億円）
- 営業利益は為替前提変更はややプラス（ドルは悪化要因、ユーロと中国元が好転要因）だが、欧米を中心とした景気後退リスクを考慮して据え置き
- 配当は年間20円（中間10円、期末10円）で据え置き

【億円】

	2022年度 見通し (今回)	2022年度 見通し (前回)	2021年度 実績	対前年 増減	対前年 増減率
売上高	11,200	10,200	9,114	+2,086	+ 23%
営業利益	150	150	△ 223	+373	-
親会社の所有者に帰属する					
当期利益	55	55	△ 261	+316	-
設備投資額	500	500	424		
減価償却費及び償却費 *	500	500	558		
研究開発費	630	630	627		
FCF	△ 150	200	△ 136		
投融资	50	160	0		
為替レート [円]					
USD	145.0	135.0	112.4	+32.6	
EUR	140.0	135.0	130.6	+9.4	
RMB	20.5	19.5	17.5	+3.0	

*IFRS16による使用权資産償却費は含まない

2022年度 業績見通し | セグメント



KONICA MINOLTA

【億円】

売上高	2022年度 見通し (今回)	2022年度 見通し (前回)	対前回 増減	2021年度 実績	対前年 増減	対前年 増減率
デジタルワークプレイス事業	6,160	5,200	+960	4,654	+1,506	+ 32%
プロフェッショナルプリント事業	2,280	2,200	+80	1,947	+333	+ 17%
ヘルスケア事業	1,320	1,275	+45	1,099	+221	+ 20%
インダストリー事業	1,430	1,525	△95	1,392	+38	+ 3%
センシング	495	450	+45	424	+71	+ 17%
材料・コンポーネント	785	925	△140	842	△57	-
画像IoTソリューション	150	150	0	126	+24	+ 19%
コーポレート他	10	0	+10	21	△11	-
全社合計	11,200	10,200	+1,000	9,114	+2,086	+23%

営業利益 (営業利益率)	2022年度 見通し (今回)	2022年度 見通し (前回)	対前回 増減	2021年度 実績	対前年 増減	対前年 増減率
デジタルワークプレイス事業	80 1.3%	35	+45	△ 62 -	+142	-
プロフェッショナルプリント事業	105 4.6%	75	+30	10 0.5%	+95	+ 914%
ヘルスケア事業	△ 95 -	△ 90	△5	△ 203 -	+108	-
インダストリー事業	230 16.1%	300	△70	185 13.3%	+45	+ 24%
コーポレート他	△ 170 -	△ 170	0	△ 153 -	△17	-
全社合計	150 1.3%	150	0	△ 223 -	+373	-

2022年度 業績見通し | 2022年度重点施策

- 事業ポートフォリオの転換に向けて

2022年度重点施策

検討中 実行中 効果出し

	検討中	実行中	効果出し
安定収益事業 オフィス	● 販売/サービス/管理の効率化/高質化のための構造改革の実施		✓
	● 中長期を見据え、地政学リスクを考慮したモノづくり戦略の見直し（パートナー戦略含む）	✓	✓
コア事業 センシング、機能材料、 リコンポーネント、 メディカルイメージング プロダクションプリント	● 成長領域での事業展開継続強化	✓	✓
	● 中長期を見据えたM&A（センシング）、厳選かつ戦略的な設備投資（機能材料）、戦略的提携の効果出し（ヘルスケア）、人財投資の実施		✓
戦略的新規事業 プレジジョンメディシン、 画像IoTソリューション、 DW-DX、産業印刷	● IPOの適切な時機を見計らいながら準備継続（プレジジョンメディシン）	✓	
	● （追加）収益性最優先の最適化施策（プレジジョンメディシン）		✓
	● グループ間シナジーの最大化（画像IoTソリューション）、デジタル印刷化の潮流を捉えた事業成長の加速（産業印刷）		✓
	● これまでの人財および開発投資に基づく成果出しへの注力、厳選した先行開発投資の実施		✓
低収益事業 光学コンポーネント、 マーケティングサービス	● 外部資本の活用を念頭に置いた施策の継続推進	✓	✓
	● バリューチェーン上流へのリソース集中		✓



ESG含む無形資産 の取り組み



ESGの社外評価

マレーシアの複合機生産拠点が社会的責任監査でRBAのプラチナ認定を取得



Responsible Business Alliance

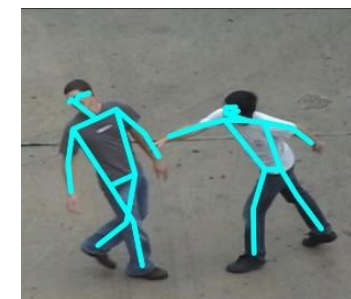
Advancing Sustainability Globally



※RBA
グローバルサプライチェーンにおける社会的責任を推進することを目的とした企業連盟

画像IoT

人行動に関連するAI技術の開発で「MIRUインタラクティブ発表賞」をダブル受賞



発行レポートのお知らせ

■ 統合報告書



https://www.konicaminolta.com/media-library/jp-ja/investors/ir_library/ar/ar2022/pdf/konica_minolta_ar2022_j_0920.pdf

■ サステナビリティレポート



<https://www.konicaminolta.jp/about/csr/index.html>

■ 知的財産報告書



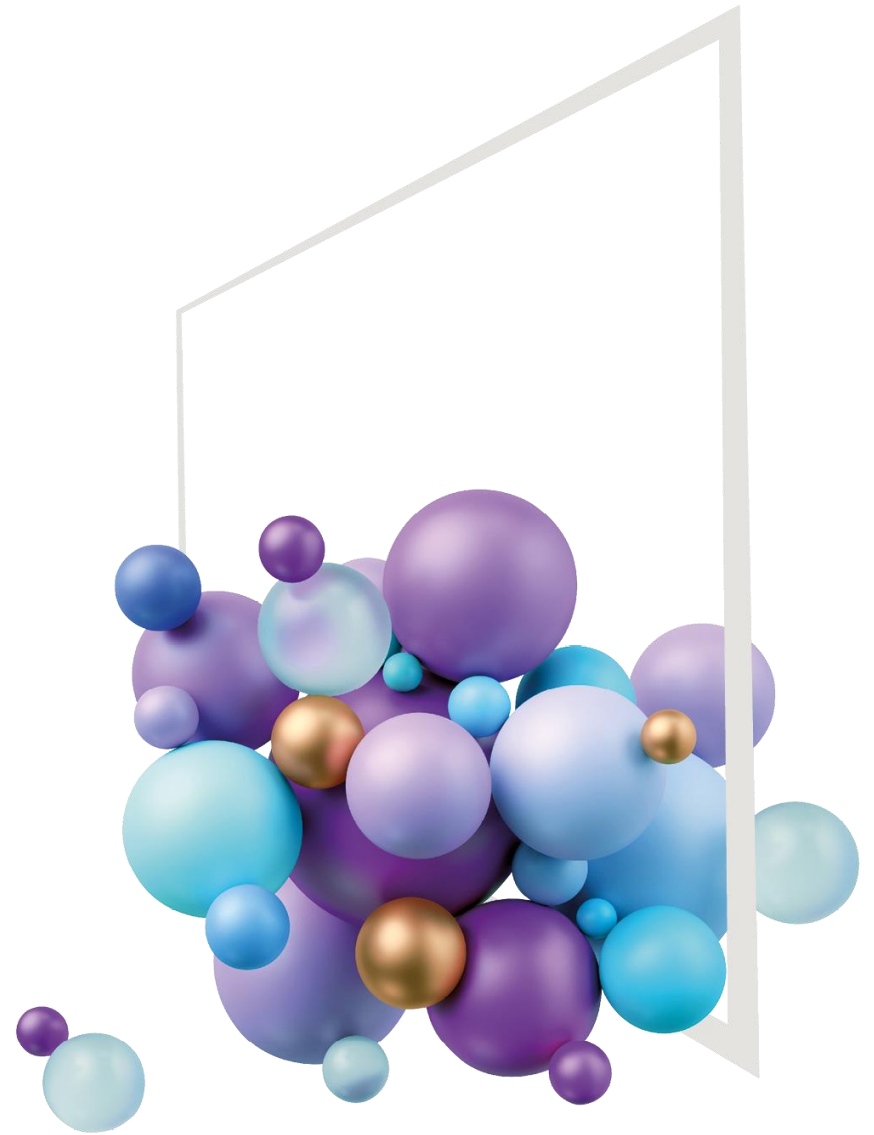
https://www.konicaminolta.com/jp-ja/investors/ir_library/intellectual_property/pdf/ip2022.pdf



KONICA MINOLTA



Appendix



2022年度2Q 業績 | 営業利益の増減要因



KONICA MINOLTA

事業別

【億円】

- ヘルスケア
 - ・為替影響 $\Delta 4$
 - ・中国LD $\Delta 1$
 - ・数量増減 $+2$
 - ・価格対応 $+2$
 - ・部材高騰 $\Delta 4$
 - ・経費増減 $+5$
(航空輸送費除く)
 - ・構造改革 $\Delta 2$

デジタルワークプレイス

- ・為替影響 $\Delta 4$
- ・数量増減 $+172$
- ・価格対応 $+12$
- ・航空輸送費 $\Delta 15$
- ・物流費 $\Delta 30$
- ・部材高騰 $\Delta 14$
- ・経費増減 $\Delta 20$
(航空輸送費除く)
- ・構造改革 $\Delta 5$

プロフェッショナル
プリント
 $+36$

ヘルスケア
 $\Delta 4$

インダストリー
 $\Delta 20$

コーポレート他
 $\Delta 2$

2021年度
2Q実績

$\Delta 47$

デジタル
ワークプレイス
 $+96$

プロフェッショナルプリント

- ・為替影響 $+17$
- ・中国LD $\Delta 7$
- ・数量増減 $+52$
- ・価格対応 $+5$
- ・航空輸送費 $\Delta 14$
- ・物流費 $\Delta 74$
- ・部材高騰 $\Delta 2$
- ・経費増減 $\Delta 9$
(航空輸送費除く)

インダストリー

- ・為替影響 $+11$
- ・数量増減 $\Delta 19$
- ・価格対応 $+3$
- ・部材高騰 $\Delta 6$
- ・経費増減 $\Delta 7$
(航空輸送費除く)

59

2022年度
2Q実績

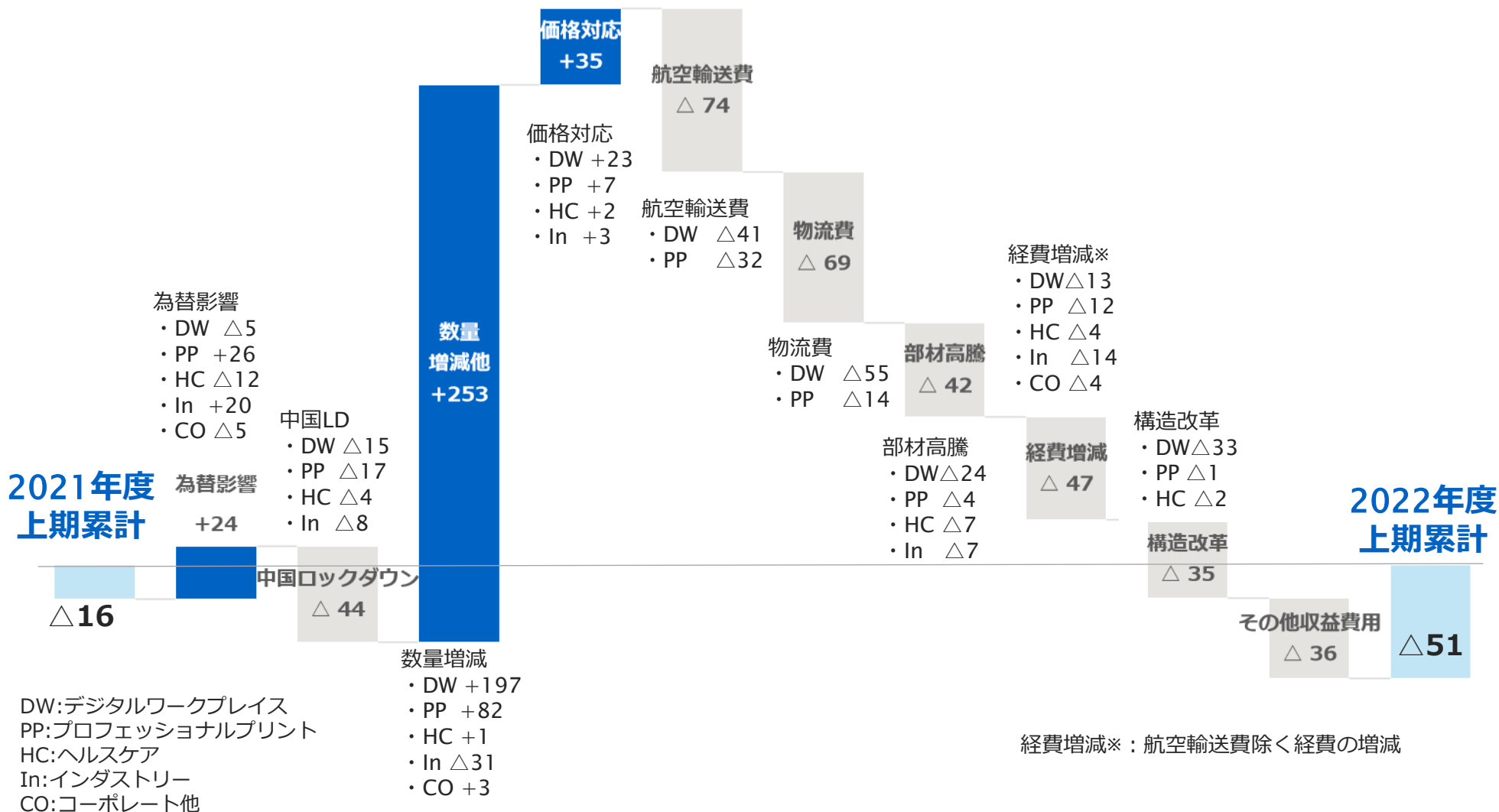
2022年度上期 累計業績 | 営業利益の増減要因



KONICA MINOLTA

要因別

【億円】



Appendix 営業利益増減分析



KONICA MINOLTA

【億円】

前年同期比 (FY22累計 vs FY21累計)	デジタル ワークプレイス	プロフェッショナル プリント	ヘルスケア	インダストリー	コーポレート他	合計
【営業利益】						
為替影響	△ 5	+26	△ 12	+20	△ 5	+24
数量増減他	+85	+29	△ 10	△ 47	+3	+61
価格対応	+23	+7	+2	+3	+0	+35
経費増減	△ 36	△ 26	△ 4	△ 14	△ 4	△ 84
その他収益費用	△ 57	△ 1	△ 14	△ 0	+0	△ 72
合計	+10	+35	△ 38	△ 38	△ 6	△ 36

前年同期比 (FY22/2Q vs FY21/2Q)	デジタル ワークプレイス	プロフェッショナル プリント	ヘルスケア	インダストリー	コーポレート他	合計
【営業利益】						
為替影響	△ 4	+17	△ 4	+11	△ 3	+17
数量増減他	+120	+30	△ 3	△ 26	+2	+124
価格対応	+12	+5	+2	+3	+0	+22
経費増減	△ 26	△ 15	+5	△ 8	△ 2	△ 46
その他収益費用	△ 6	△ 2	△ 4	△ 1	+2	△ 11
合計	+96	+36	△ 4	△ 20	△ 2	+105

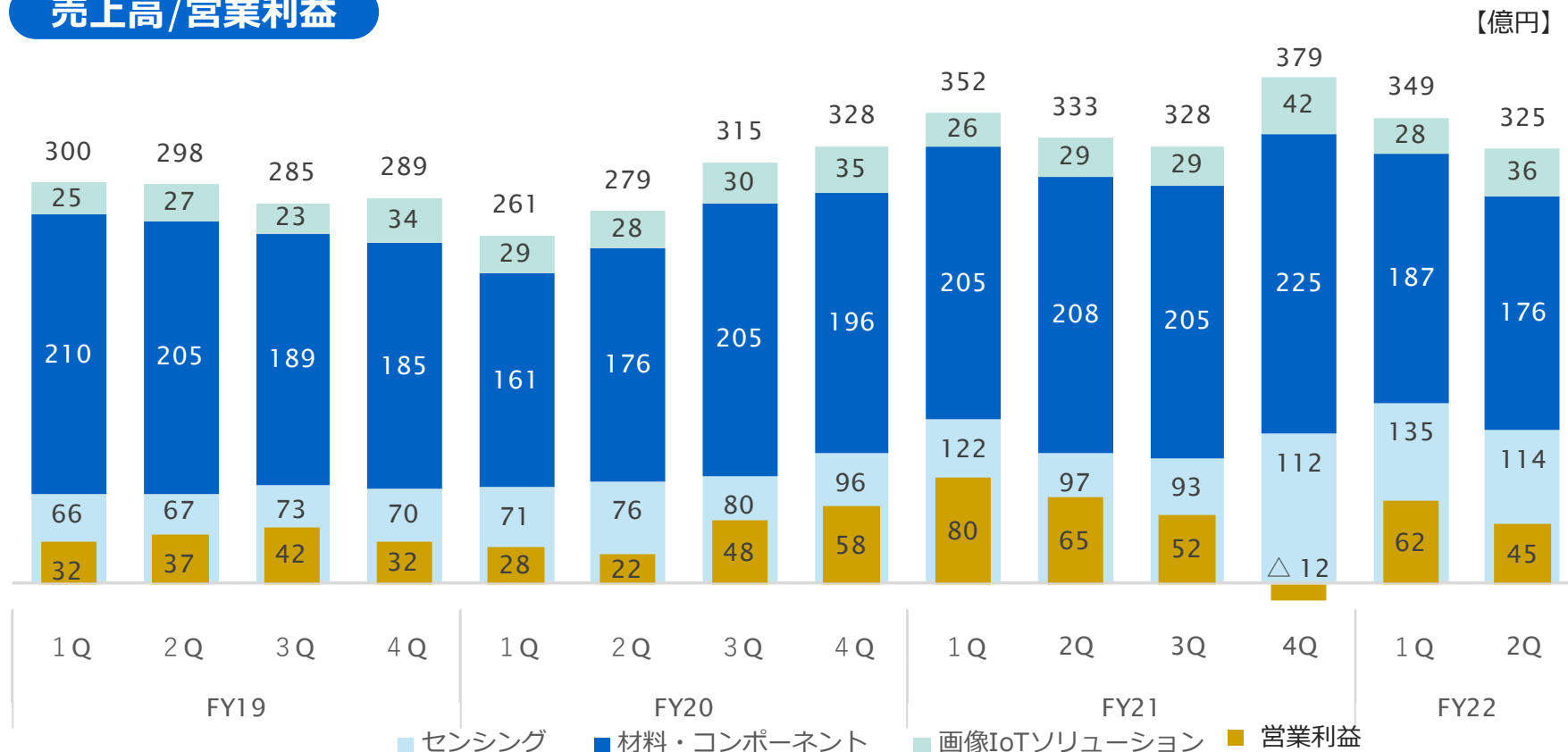
2022年度2Q 業績 | インダストリー事業



KONICA MINOLTA

- **機能材料**：ディスプレイ市場の在庫調整によりフィルム需要が減少。VA位相差フィルムの販売は堅調なもの、IT・モバイル向けの販売は減少
- **センシング**：光源色計測器は大手顧客からの需要が堅調、物体色計測器は中国や北米で好調継続。外観計測およびHSI産業用途も受注を順調に獲得
- **画像IoTソリューション**：欧州での監視カメラソリューションの販売は前年同期並み。i-PRO（株）と連携し、温度上昇による事故の予防を支援する異常熱検知システムの提供を開始

売上高/営業利益



2022年度2Q 業績 | ヘルスケア事業

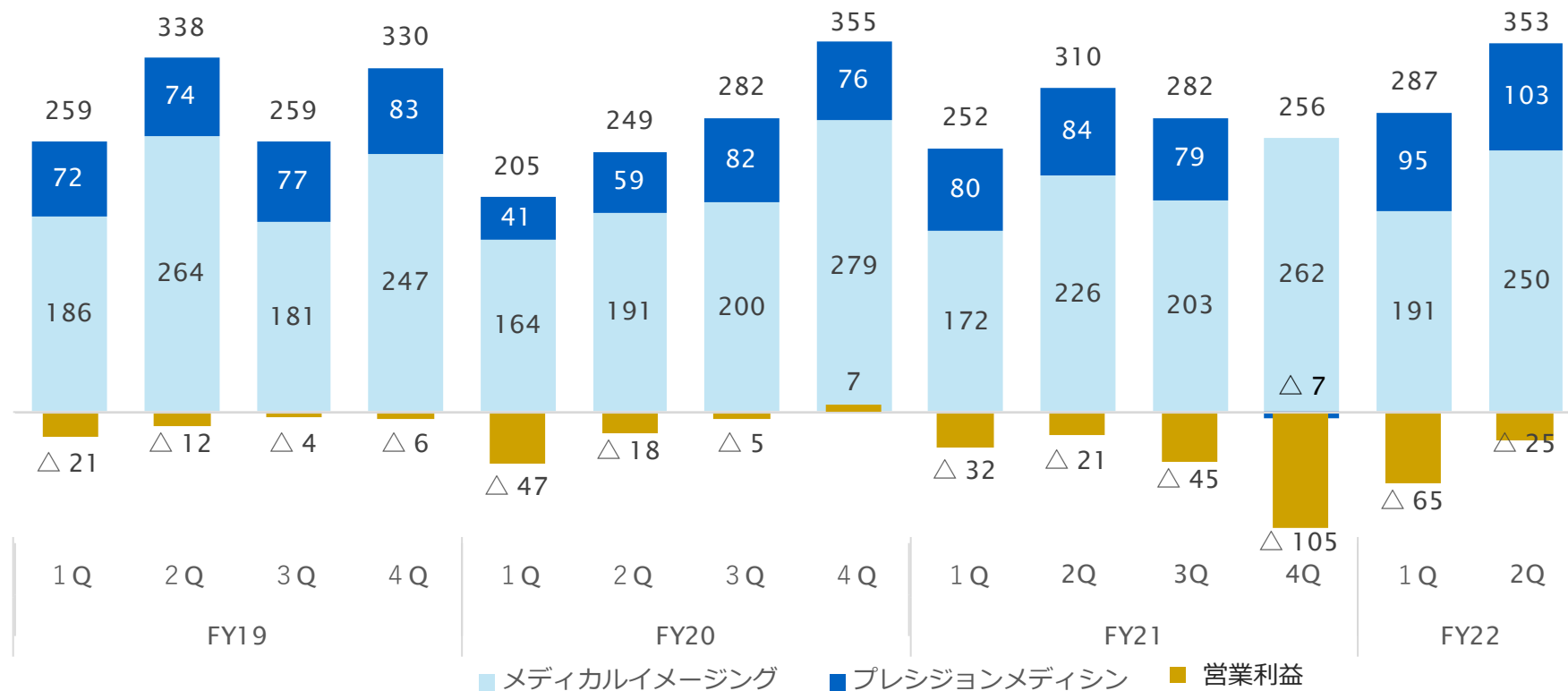


KONICA MINOLTA

- **メディカルイメージング***：X線/医療ITは日米で堅調。超音波は日本の麻酔・内科向けが伸長
- **プレジジョンメディシン**：RNA検査は増加もDNA検査やCARE Programの検査数が回復途上。創薬支援は伸長

【億円】

売上高/営業利益



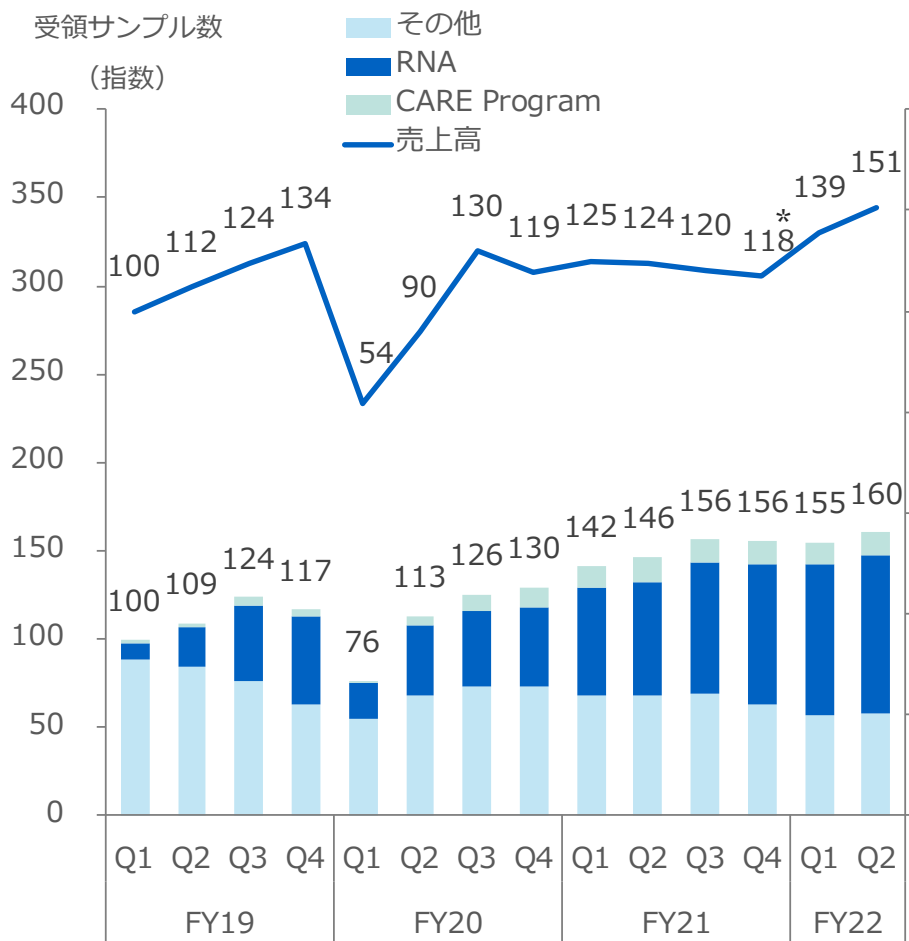
* メディカルイメージング：ヘルスケア事業（ヘルスケア分野）

Appendix 遺伝子検査/創薬支援 | 販売状況とKPI

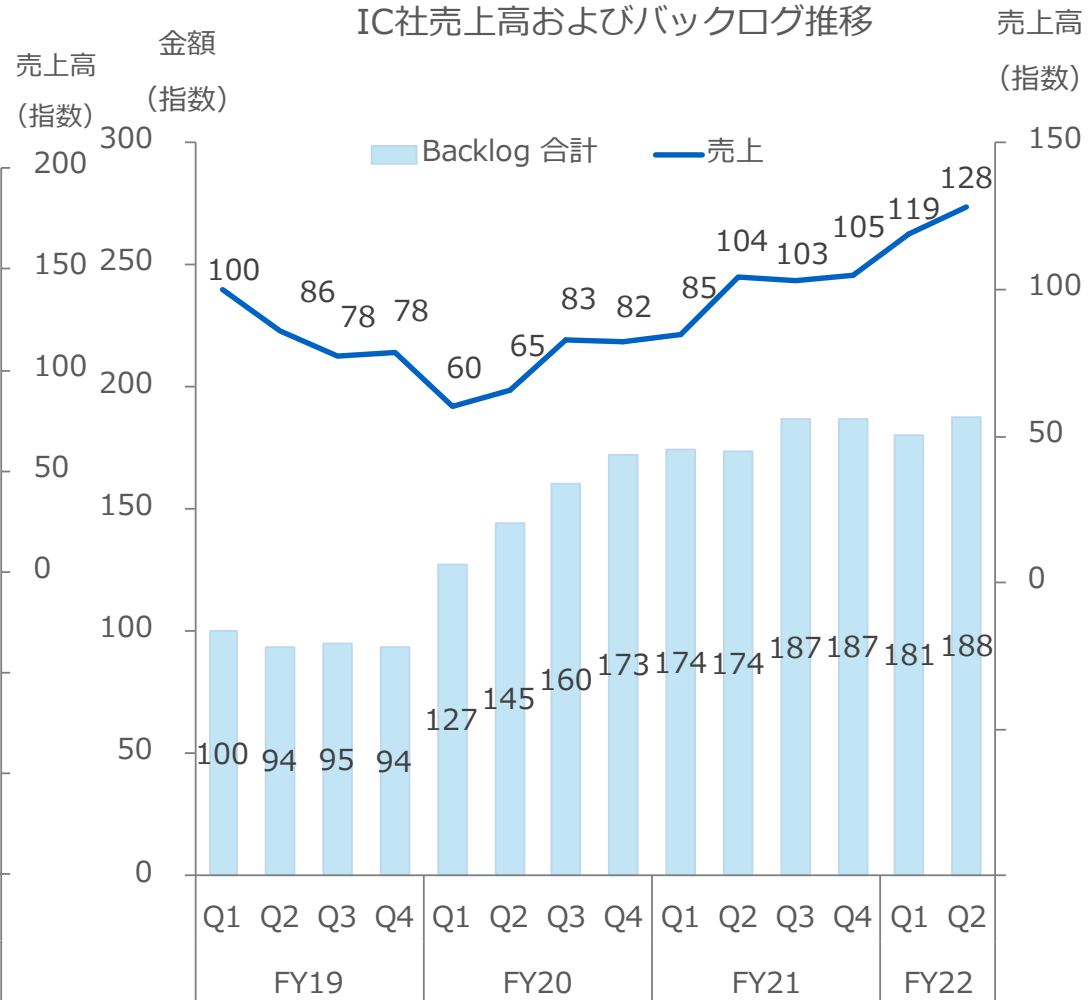


KONICA MINOLTA

AG社 売上高および受領サンプル数推移



バックログ



FY19 1Qを100とした時の指数

*売掛金減額前

2022年度2Q 業績 | プロフェッショナルプリント事業

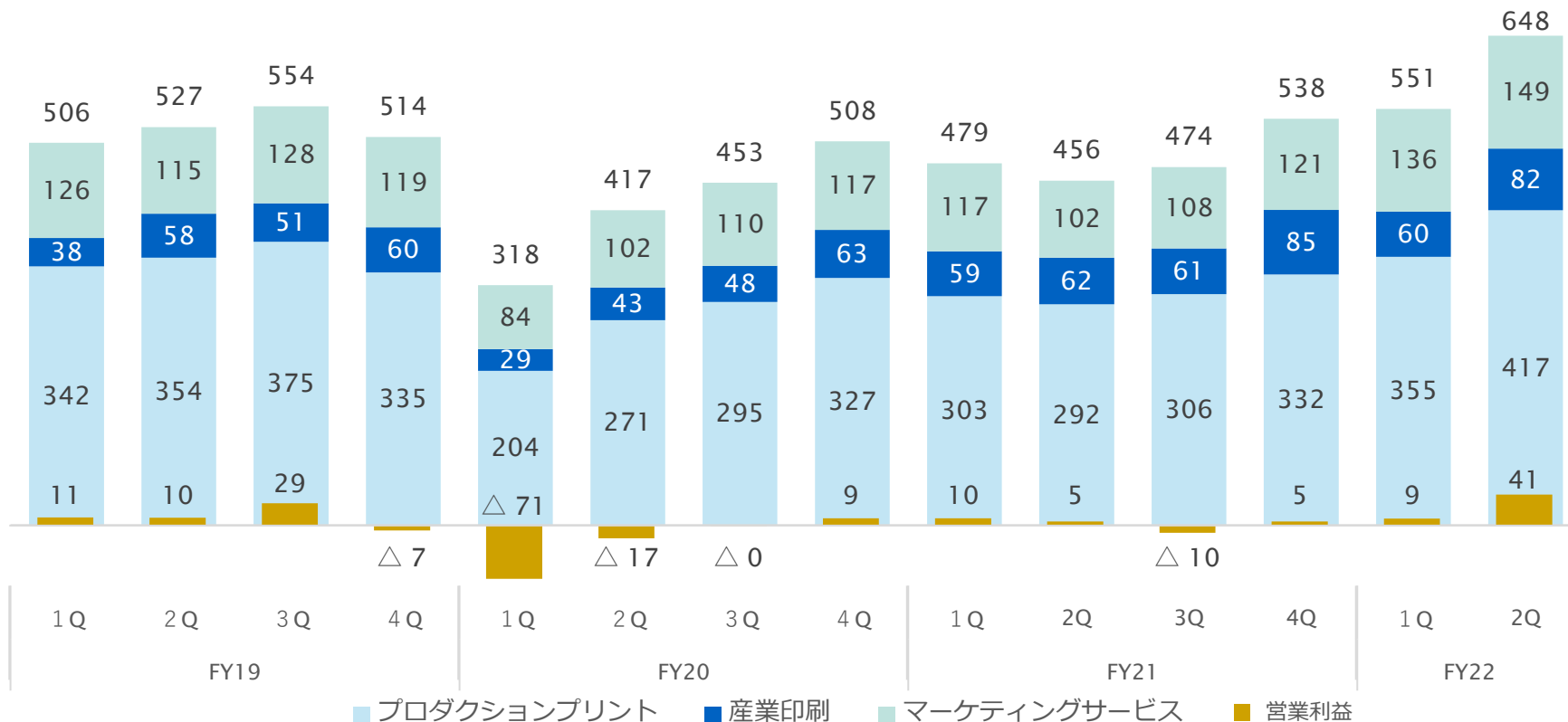


KONICA MINOLTA

- プロダクションプリント**：半導体調達改善、物流輸送期間短縮によりハードの生産、供給回復。カラー販売台数はFY21比で約1.5倍。受注残1Q末 約115億円から2Q/末 約105億円に解消開始
- 産業印刷**：ハードは欧州と日本でインクジェット印刷機増加。ノンハードはインクジェット、ラベル、加飾、テキスタイルの全領域で伸長。対FY19で149%、YoYで42%の伸張

売上高/営業利益

【億円】



2022年度2Q 業績 | デジタルワークプレイス事業

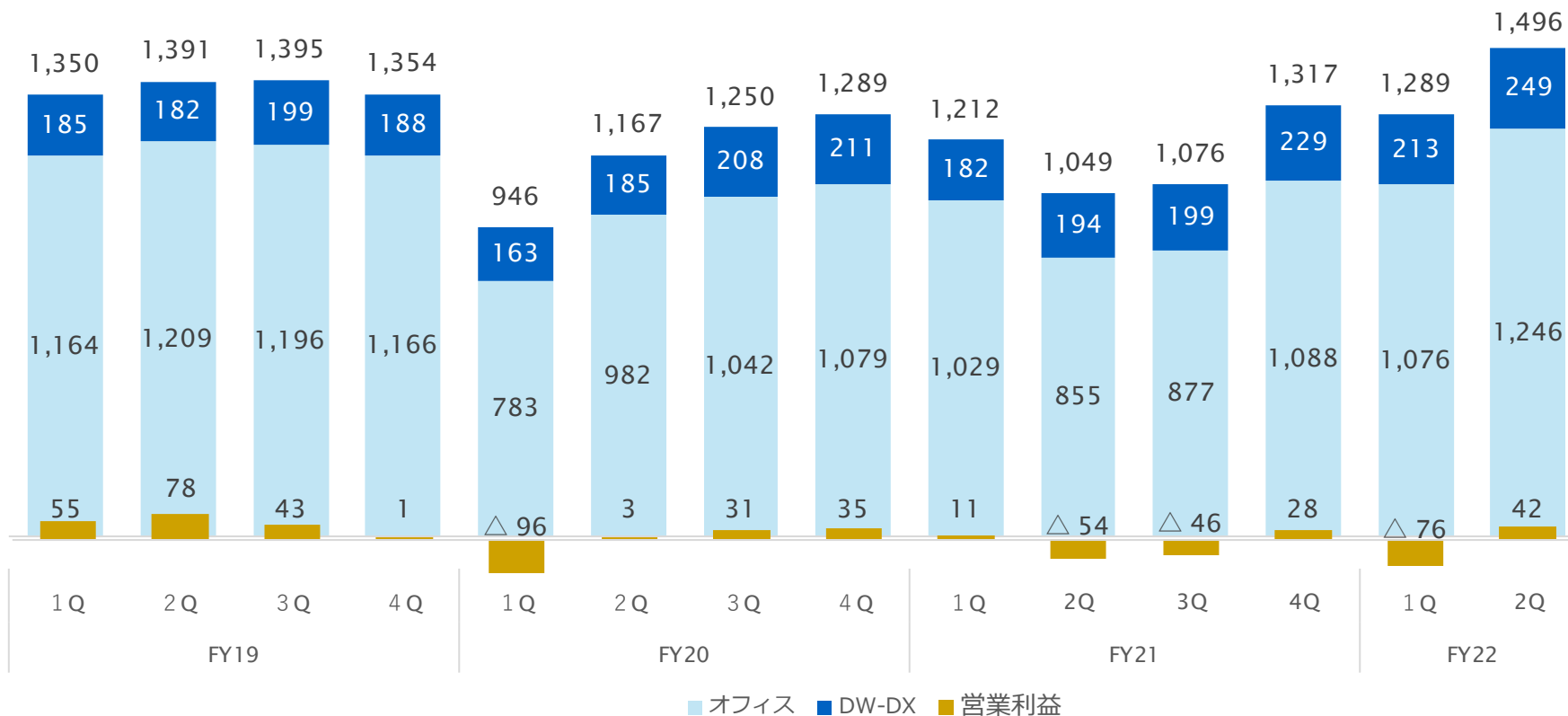


KONICA MINOLTA

- **オフィス**：ハードは中国ロックダウン解除と輸送期間短縮化の回復を受けFY19比で93%。ノンハードは想定通り回復しFY19比で85%。受注残は約575億円（1Q末 670億円）
- **DW-DX**：マネージドITサービス、リカーリング収益が好調

【億円】

売上高/営業利益





【億円】

	2022年度 累計	2021年度 累計	前期比	2022年度 2Q	2021年度 2Q	前期比
売上高	5,307	4,451	+19%	2,829	2,152	+31%
売上総利益	2,260	1,954	+16%	1,213	941	+29%
(売上総利益率)	42.6%	43.9%	△ 1.3pt	42.9%	43.7%	△ 0.9pt
販売管理費	2,253	1,984	+14%	1,146	991	+16%
事業貢献利益	7	△ 29	-	67	△ 50	-
(事業貢献利益率)	0.1%	-		2.4%	-	
その他収益・費用	△ 59	14	-	△ 8	3	-
営業利益	△ 51	△ 16	-	59	△ 47	-
(営業利益率)	-	-		2.1%	-	
金融収支	22	△ 12	-	△ 13	△ 6	-
税引前利益	△ 31	△ 27	-	45	△ 53	-
(税引前利益率)	-	-		1.6%	-	
親会社の所有者に帰属する当期利益	△ 67	△ 43	-	20	△ 53	-
(親会社の所有者に帰属する当期利益率)	-	-	-	0.7%	-	-
EPS (円)	△ 13.66	△ 8.75		4.03	△ 10.73	
設備投資額	179	182		95	94	
減価償却費及び償却費 *	278	279		140	139	
研究開発費	311	314		159	161	
FCF	△ 254	119		△ 5	147	
投融資	16	0		7	0	
為替レート [円] USD	133.97	109.80	+24.17	138.37	110.11	+28.26
EUR	138.73	130.90	+7.83	139.34	129.84	+9.50

*IFRS16による使用权資産償却費は含まない

Appendix 販売管理費・その他の収益・費用及び金融収支明細



【億円】 KONICA MINOLTA

	2022年度 累計	2021年度 累計	前期比	2022年度 2Q	2021年度 2Q	前期比
販売管理費						
販売変動費	252	172	+80	125	85	+40
研究開発費	311	314	△2	159	161	△2
人件費	1,070	957	+114	548	472	+76
その他	619	541	+78	315	274	+41
販売管理費 計	2,253	1,984	+269	1,146	991	+155
*為替影響額：	184億円（除く為替 +85億円）			109億円（除く為替 +46億円）		
その他の収益						
保険金収入	12	1	+11	2	0	+2
休業補償等助成金	0	12	△12	0	4	△4
事業譲渡益	-	18	△18	-	3	△3
その他収益	17	16	+1	9	8	+1
その他の収益 計	29	47	△18	11	15	△4
その他の費用						
事業構造改善費用	36	4	+33	1	1	+0
訴訟和解金	16	-	+16	-	-	-
その他費用	35	30	+5	18	11	+7
その他の費用 計	88	34	+54	19	12	+7
金融収支						
受取利息・受取配当金-支払利息	△ 23	△ 16	△7	△ 13	△ 10	△3
為替差損益	43	△ 2	+45	1	△ 3	+4
その他	1	5	△4	△ 1	7	△8
金融収支 計	22	△ 12	+33	△ 13	△ 6	△7

Appendix セグメント別 研究開発費、設備投資、減価償却費



KONICA MINOLTA

【億円】

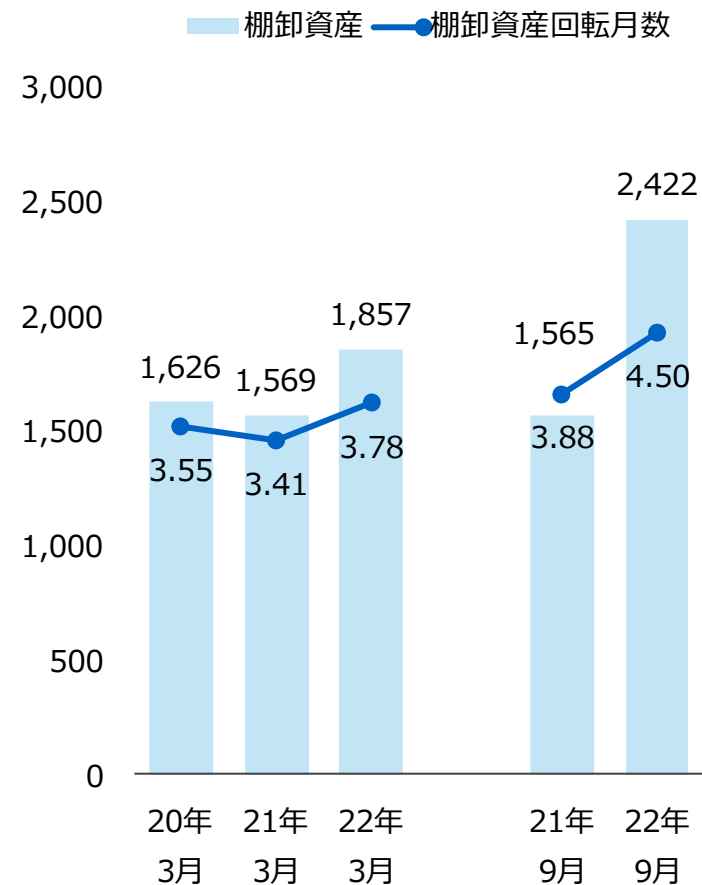
研究開発費	2022年度 2Q累計	2021年度 2Q累計	前期比	2022年度 2Q	2021年度 2Q	前期比
デジタルワークプレイス事業/ プロフェッショナルプリント事業	136	151	△ 10%	70	77	△ 9%
ヘルスケア事業	61	55	+10%	30	28	+5%
インダストリー事業	68	64	+6%	35	33	+7%
コーポレート他	46	44	+5%	24	23	+5%
全社合計	311	314	△ 1%	159	161	△ 1%

設備投資	2022年度 2Q累計	2021年度 2Q累計	前期比	2022年度 2Q	2021年度 2Q	前期比
デジタルワークプレイス事業/ プロフェッショナルプリント事業	88	97	△ 10%	45	45	+1%
ヘルスケア事業	33	25	+33%	16	13	+24%
インダストリー事業	31	27	+14%	21	16	+31%
コーポレート他	26	32	△ 19%	13	20	△ 34%
全社合計	179	182	△ 2%	95	94	+2%

減価償却費 および償却費	2022年度 2Q累計	2021年度 2Q累計	前期比	2022年度 2Q	2021年度 2Q	前期比
デジタルワークプレイス事業/ プロフェッショナルプリント事業	154	162	△ 5%	78	80	△ 3%
ヘルスケア事業	50	43	+17%	25	22	+14%
インダストリー事業	51	50	+2%	25	24	+5%
コーポレート他	24	25	△ 2%	11	12	△ 10%
全社合計	278	279	△ 0%	140	139	+1%

【億円】

	FY20 上期	FY21 上期	FY22 上期
税引前四半期利益（△は損失）	△ 309	△ 27	△ 31
減価償却費及び償却費	390	378	377
営業債権及びその他の債権の増減（△は増加）	298	218	11
棚卸資産の増減（△は増加）	101	15	△ 392
営業債務及びその他の債務の増減（△は減少）	△ 324	△ 143	66
その他	△ 59	△ 82	△ 109
営業活動によるキャッシュ・フロー	97	359	△ 78
有形固定資産の取得による支出	△ 129	△ 183	△ 106
無形資産の取得による支出	△ 57	△ 89	△ 88
子会社株式の取得による支出	△ 2	-	△ 7
その他	20	33	25
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 168	△ 239	△ 176
フリーキャッシュフロー	△ 71	119	△ 254

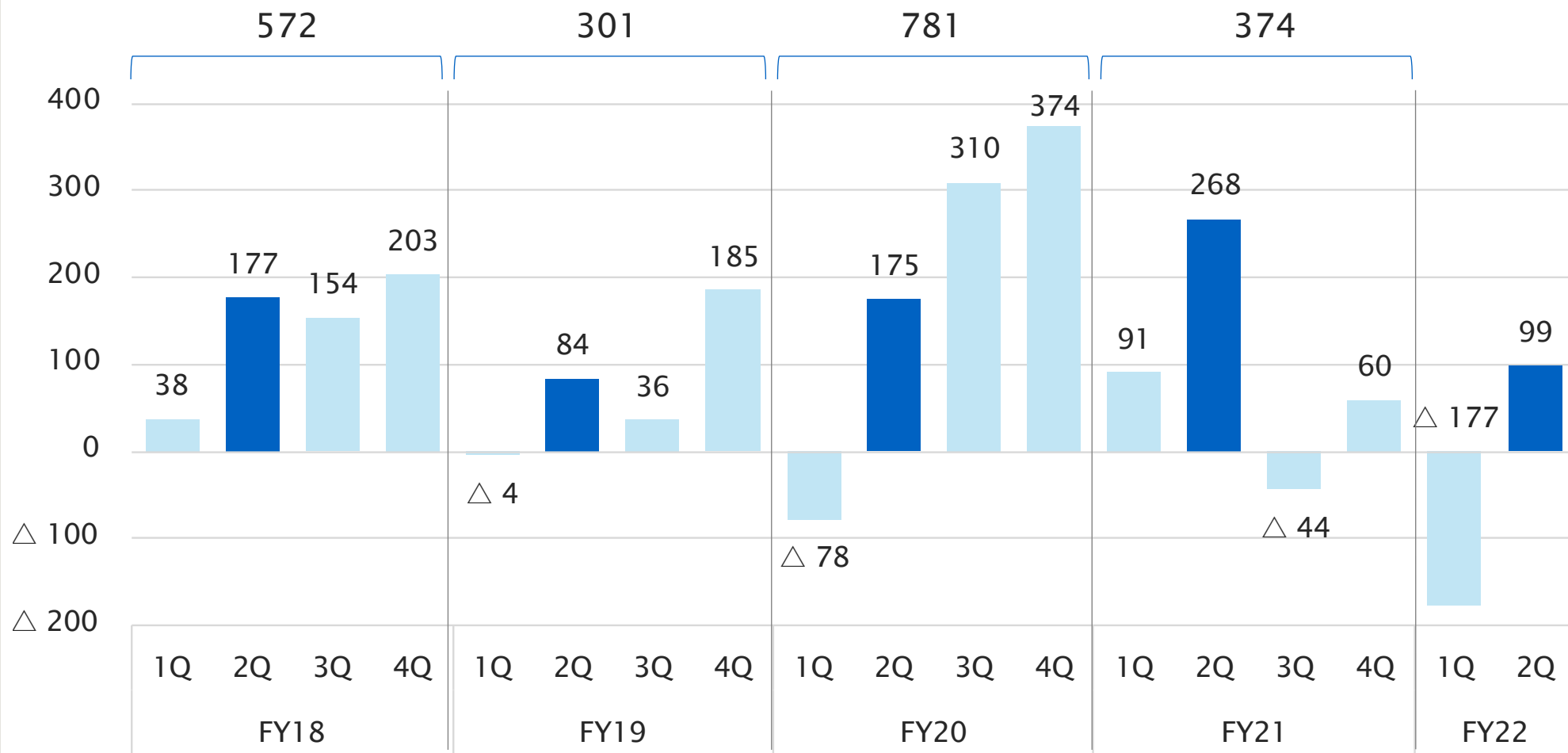


Appendix 営業キャッシュフローの四半期・通期推移



KONICA MINOLTA

【億円】



Appendix 連結財政状態計算書



KONICA MINOLTA

【億円】

	21年3月	22年3月	22年9月
現金及び現金同等物	1,238	1,177	1,173
営業債権及びその他の債権	2,628	2,802	3,090
棚卸資産	1,569	1,857	2,422
その他の流動資産	384	353	464
流動資産合計	5,820	6,189	7,150
有形固定資産	2,925	2,877	2,884
のれん及び無形資産	3,475	3,541	3,920
その他の非流動資産	777	774	804
非流動資産合計	7,177	7,193	7,608
資産合計	12,998	13,381	14,758

	21年3月	22年3月	22年9月
営業債務及びその他の債務	1,858	1,821	2,089
社債及び借入金	3,153	3,543	3,972
リース負債	954	943	971
その他の負債	1,526	1,459	1,669
負債合計	7,490	7,766	8,700
親会社の所有者に帰属する持分合計	5,399	5,498	5,928
非支配持分	108	117	131
資本合計	5,507	5,615	6,058
負債及び資本合計	12,998	13,381	14,758

	21年3月	22年3月	22年9月
自己資本比率(%)	41.5	41.1	40.2
格付け評価用自己資本比率(%)	45.3	44.8	43.6
D/Eレシオ	0.76	0.82	0.83

Appendix 主な通貨の為替レートと為替影響/為替感応度



KONICA MINOLTA

【為替レート：円】

【影響額、感応度：億円】

	FY21	FY22	対前年影響額		為替感応度*2	
	2Q累計	2Q累計	売上高	営業利益	売上高	営業利益
米ドル	109.80	133.97	+360	△ 30	+28	△ 3
ユーロ	130.90	138.73	+64	+23	+16	+5
ポンド	152.50	162.89	+13	△ 0	+2	+1
欧州通貨*1	-	-	+79	+22	+22	+7
人民元	16.99	19.89	+49	+21	+32	+12
その他	-	-	+60	+7	-	-
予約影響額	-	-	-	+5	-	-
合計	-	-	+548	+24	-	-

*1 欧州通貨：ユーロ/ポンド以外の欧州通貨も含む

*2 為替感応度：1円変動時の影響額（年間）

Appendix セグメント別四半期推移



KONICA MINOLTA

【億円】

【売上高】	FY21					FY22	
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q
デジタルワークプレイス事業	1,212	1,049	1,076	1,317	4,654	1,289	1,496
プロフェッショナルプリント事業	479	456	474	538	1,947	551	648
ヘルスケア事業	252	310	282	256	1,099	287	353
インダストリー事業	352	333	328	379	1,392	349	325
コーポレート他	3	4	5	10	21	3	7
全社合計	2,299	2,152	2,164	2,499	9,114	2,478	2,829

【事業貢献利益】	FY21					FY22	
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q
デジタルワークプレイス事業	0	△ 56	△ 44	22	△ 77	△ 35	46
プロフェッショナルプリント事業	13	4	△ 5	21	33	12	42
ヘルスケア事業	△ 36	△ 23	△ 44	△ 105	△ 208	△ 59	△ 23
インダストリー事業	80	65	53	82	279	62	45
コーポレート他	△ 37	△ 40	△ 35	△ 36	△ 148	△ 40	△ 44
全社合計	21	△ 50	△ 76	△ 16	△ 122	△ 59	67

【営業利益】	FY21					FY22	
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q
デジタルワークプレイス事業	11	△ 54	△ 46	28	△ 62	△ 76	42
プロフェッショナルプリント事業	10	5	△ 10	5	10	9	41
ヘルスケア事業	△ 32	△ 21	△ 45	△ 105	△ 203	△ 65	△ 25
インダストリー事業	80	65	52	△ 12	185	62	45
コーポレート他	△ 37	△ 42	△ 37	△ 37	△ 153	△ 41	△ 44
全社合計	31	△ 47	△ 86	△ 121	△ 223	△ 110	59

Appendix セグメント別四半期推移

【億円】



【売上高】	FY21					FY22	
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q
デジタルワークプレイス事業	1,212	1,049	1,076	1,317	4,654	1,289	1,496
オフィス	1,029	855	877	1,088	3,850	1,076	1,246
DW-DX	182	194	199	229	805	213	249
プロフェッショナルプリント事業	479	456	474	538	1,947	551	648
プロダクションプリント	303	292	306	332	1,233	355	417
産業印刷	59	62	61	85	267	60	82
マーケティングサービス	117	102	108	121	447	136	149
ヘルスケア事業	252	310	282	256	1,099	287	353
メディカルイメージング	172	226	203	262	863	191	250
プレジジョンメディシン	80	84	79	△7	236	95	103
インダストリー事業	352	333	328	379	1,392	349	325
センシング	122	97	93	112	424	135	114
材料・コンポーネント	205	208	205	225	842	187	176
画像IoTソリューション	26	29	29	42	126	28	36
コーポレート他	3	4	5	10	21	3	7
全社合計	2,299	2,152	2,164	2,499	9,114	2,478	2,829

* メディカルイメージング：ヘルスケア事業（ヘルスケア分野）

Appendix インダストリー事業四半期推移

【億円】

【売上高】	FY21					FY22	
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q
インダストリー事業	352	333	328	379	1,392	349	325
センシング	122	97	93	112	424	135	114
材料・コンポーネント	205	208	205	225	842	187	176
機能材料	132	128	127	136	522	113	80
光学コンポーネント	38	44	42	48	172	36	54
IJコンポーネント	35	36	36	41	148	37	42
画像IoTソリューション	26	29	29	42	126	28	36
画像IoTソリューション	23	24	21	21	88	20	26
映像ソリューション	3	5	8	22	39	8	9

Appendix デジタルワークプレイス/プロフェッショナル プリント | 販売状況



■ 地域別売上高構成比（円貨ベース）

	FY19					FY20					FY21					FY22	
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q
日本	12%	13%	13%	14%	13%	15%	14%	13%	14%	14%	12%	13%	14%	14%	13%	11%	11%
北米	34%	33%	33%	33%	33%	33%	32%	30%	30%	31%	32%	31%	31%	30%	31%	34%	34%
欧州	36%	34%	37%	37%	36%	35%	37%	37%	37%	37%	37%	35%	35%	36%	36%	37%	33%
中国	6%	6%	5%	4%	5%	8%	8%	8%	7%	7%	7%	9%	7%	6%	7%	7%	8%
その他	12%	13%	12%	12%	12%	10%	11%	12%	12%	11%	12%	13%	13%	13%	13%	12%	14%

■ 地域別売上高増減（為替除く）

	FY19					FY20					FY21					FY22	
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q
日本	△8%	+4%	+1%	△3%	△2%	△19%	△17%	△7%	△4%	△11%	+12%	△9%	△7%	△2%	△2%	△7%	+19%
北米	△2%	△2%	△3%	△12%	△4%	△34%	△21%	△18%	△8%	△20%	+27%	△12%	△14%	△5%	+0%	△2%	+44%
欧州	△2%	△1%	+6%	△7%	△2%	△31%	△15%	△13%	△9%	△17%	+28%	△13%	△18%	△1%	△3%	+4%	+27%
中国	△4%	△1%	△8%	△40%	△14%	△4%	+6%	+19%	+56%	+16%	+15%	△1%	△21%	△13%	△4%	△12%	+30%
その他	△7%	+2%	+5%	△6%	△1%	△35%	△29%	△11%	△7%	△20%	+37%	+4%	△8%	+9%	+10%	+1%	+83%

■ ハード売上に占めるカラー比率

	FY19					FY20					FY21					FY22	
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q
オフィス	72%	73%	72%	75%	73%	69%	76%	75%	74%	74%	74%	72%	73%	77%	75%	73%	76%
PP	78%	82%	76%	80%	79%	75%	80%	80%	81%	79%	79%	82%	80%	79%	80%	77%	82%



■ オフィスMFP 販売台数推移 Y o Y

	FY19					FY20					FY21					FY22	
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q
A3カラーMFP	93%	99%	102%	93%	97%	72%	84%	92%	92%	85%	132%	62%	55%	103%	84%	89%	192%
A3モノクロMFP	95%	95%	94%	60%	86%	76%	89%	98%	140%	97%	117%	83%	65%	75%	83%	63%	132%
A3MFP合計	94%	97%	99%	79%	92%	74%	86%	94%	107%	90%	126%	71%	59%	91%	84%	79%	162%

■ オフィスMFP ノンハード売上高推移

	FY19					FY20					FY21					FY22	
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q
ノンハード売上高	624	605	623	601	2453	421	489	531	511	1951	535	513	528	541	2117	593	606
ノンハード比率	53%	50%	52%	51%	52%	53%	50%	51%	47%	50%	52%	60%	60%	49%	55%	53%	47%

■ オフィスMFP ノンハード地域別売上推移 (現地通貨ベース) Y o Y

	FY19					FY20					FY21					FY22	
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q
日本	97%	100%	99%	98%	98%	85%	90%	94%	92%	90%	108%	98%	97%	97%	100%	96%	99%
米国	99%	99%	98%	95%	97%	62%	73%	78%	81%	74%	124%	103%	94%	101%	105%	100%	107%
欧州	96%	100%	102%	97%	99%	66%	82%	83%	78%	77%	126%	101%	93%	104%	105%	105%	99%
中国	105%	114%	96%	72%	96%	107%	105%	115%	140%	116%	102%	105%	65%	79%	87%	105%	97%
インド	115%	117%	101%	102%	109%	52%	68%	98%	113%	82%	141%	151%	130%	96%	125%	196%	124%
合計	98%	98%	99%	97%	98%	69%	80%	85%	84%	80%	120%	101%	94%	101%	103%	102%	105%



■ プロダクションプリント 販売台数推移 Y o Y

	FY19					FY20					FY21					FY22	
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q
カラー機	100%	97%	102%	72%	91%	51%	73%	65%	100%	73%	138%	83%	99%	71%	91%	105%	154%
モノクロ機	107%	87%	89%	76%	89%	59%	68%	71%	95%	72%	122%	83%	90%	83%	93%	86%	134%
合計	102%	93%	97%	73%	90%	54%	71%	67%	99%	72%	132%	83%	96%	74%	92%	98%	147%

■ プロダクションプリント ノンハード売上高推移

	FY19					FY20					FY21					FY22	
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q
ノンハード売上高	203	199	215	198	816	122	148	179	175	624	183	179	183	196	740	217	235
ノンハード比率	59%	56%	57%	59%	58%	60%	55%	60%	53%	57%	60%	61%	60%	59%	60%	61%	56%

■ プロダクションプリント ノンハード地域別売上推移（現地通貨ベース） Y o Y

	FY19					FY20					FY21					FY22	
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q
日本	97%	98%	94%	93%	96%	76%	82%	88%	87%	83%	107%	93%	75%	90%	90%	93%	95%
米国	96%	101%	96%	94%	97%	52%	67%	77%	82%	69%	146%	111%	100%	110%	114%	106%	112%
欧州	97%	97%	100%	100%	99%	64%	77%	79%	78%	75%	138%	121%	98%	110%	115%	112%	112%
中国	112%	121%	116%	92%	110%	113%	117%	140%	138%	127%	156%	118%	70%	92%	105%	68%	103%
インド	117%	121%	116%	105%	114%	34%	71%	105%	113%	81%	245%	151%	116%	101%	131%	164%	119%
合計	102%	99%	101%	99%	99%	62%	75%	84%	88%	77%	141%	115%	96%	106%	112%	108%	114%

2021年3月31日まで

デジタルワーク プレイス事業	<ul style="list-style-type: none"> ■ オフィス(OP) ■ ITサービス・ソリューション(ITS) ■ ワークプレイスハブ(WPH)
プロフェッショナル プリント事業	<ul style="list-style-type: none"> ■ プロダクションプリント(PP) ■ 産業印刷(IP) ■ マーケティングサービス(MS)
ヘルスケア 事業	<ul style="list-style-type: none"> ■ ヘルスケア(HC) ■ プレシジョンメディシン(APM)
インダストリー 事業	センシング
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 計測機器(MI)
	材料・コンポーネント
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 機能材料(PM) ■ 光学コンポーネント(OC) ■ IJコンポーネント(IJ)
	画像IoTソリューション
<ul style="list-style-type: none"> ■ 画像IoTソリューション(IIS) ■ 映像ソリューション(VS) 	

コーポレート他、QOL

2021年4月1日から

デジタルワーク プレイス事業	<ul style="list-style-type: none"> ■ オフィス(OP) ■ DW-DX(DW-DX)
プロフェッショナル プリント事業	<ul style="list-style-type: none"> ■ プロダクションプリント(PP) ■ 産業印刷(IP) ■ マーケティングサービス(MS)
ヘルスケア 事業	<ul style="list-style-type: none"> ■ ヘルスケア(HC) ■ プレシジョンメディシン(APM)
インダストリー 事業	センシング
	材料・コンポーネント
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 機能材料(PM) ■ 光学コンポーネント(OC) ■ IJコンポーネント(IJ)
	画像IoTソリューション
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 画像IoTソリューション(IIS) ■ 映像ソリューション(VS)

コーポレート他、QOL

- 複合機（MFP: Multi Functional Peripheral）スピードセグメント：デジタルワークプレイス事業
Seg.1 ～20枚機、Seg.2 21-30枚機、Seg.3 31-40枚機、Seg.4 41-69枚機、Seg.5 70～枚機（A4縦、分速）
- カラープロダクションプリント機セグメント：プロフェッショナルプリント事業
ELPP（Entry Light Production Print）月間印刷量10-30万枚、主に大企業の集中印刷室向け低価格帯商品
LPP（Light Production Print）月間印刷量10-30万枚、商業印刷向け商品
MPP（Mid Production Print）月間印刷量30-100万枚、商業印刷向け商品
HPP（Heavy Production Print）月間印刷量100万枚以上、商業印刷向け商品
- RNA（リボ核酸）検査：ヘルスケア事業
DNA（デオキシリボ核酸）の一次転写物であるメッセンジャーRNA（mRNA）構造の変化を捉える検査。
従来のDNAでの検査では臨床的な“意義不明”となっていたDNA変異に対して、転写産物のmRNAを解析することで、より精度の高い検査結果を提供することができる。
- CARE Program（Comprehensive Assessment, Risk & Education）：ヘルスケア事業
遺伝性乳がんハイリスク群の効果的な拾い上げと遺伝子診断に関わるトータルサポートを行うプログラム。
- FORXAI：画像IoTソリューション事業
お客様・パートナーと共に、社会のDXを加速させる画像IoTのプラットフォーム。

MEMO



KONICA MINOLTA